

授業科目	中国法演習
演習題目	台湾法と日本
担当教員	西 英昭
授業の目的	半導体や安全保障関連など、連日大きな話題となっている台湾ですが、肝心のその法制度については日本の法学部では殆んど扱われていないのが実情です。本演習では日本と密接な関係を有し、この上ない重要性を有する台湾の法制度につき、直近の論文を中心として読み込んでいくことで、その最先端に触れることを目指そうと思います。
履修条件	台湾のことが気になって仕方のない方。台湾に関係する話に絶大な興味関心がある方。 中国語（台湾華語）は出来なくても構いません（勿論出来ればなお良し、ですが）。加えて十分な日本語能力（国語力）を有する方。ゼミの議論自体は日本語で行います。 中国法・東洋法制史の講義を受講していればなお良し、ですが、未履修でも全く構いません。 「困った顔をしていれさえすれば、先生が何とかしてくれるんでしょ」というような受け身な態度ではなく、「これがやってみたいんです!」、という積極的な方を歓迎いたします。
教科書・参考書	参加者の興味関心は多くの法分野に分かれるでしょうし、法学を超えて歴史や経済、文化等、法学とも密接に関連する分野に興味を持っている方も多いと思います。本ゼミは一応現代の台湾法に中心を置きますが、その他関連分野の議論も勿論大歓迎です。ですので、読む文献は参加者の興味関心に応じて決定したいと思います。基本的に日本語文献が中心となるとは思いますが、中国語や英語の論文を読みたいというチャレンジャーも大歓迎です。
授業の計画・内容	毎回報告担当者を決めて担当分の文献を要約・解説していただき、それを元に議論をしていきます。 ゼミコンパ、ゼミ旅行等のイベントは参加の学生さんの自主性にお任せします。
成績評価の方法	毎回の出席、報告、期末レポートを総合的に勘案します。